

泌尿器科の

ご紹介

日本泌尿器科学会専門医・指導医の常勤医2名が在籍し、泌尿器科疾患全般を広く診療しています。泌尿器の治療は近年目覚ましい進化を遂げており、薬物療法で治癒する方も少なくありません。手術ありきでなく、状態やご希望に応じて治療方針を検討しますので、まずはお話をお聞かせください。なお、手術の際には、患者さんの負担が少ない低侵襲治療を優先しています。

PICK UP

尿路結石症

尿路結石症は、背中や腹部などに生じる突然の激しい痛みや、血尿といった症状で疑われる病気です。自然排石が期待できない場合は治療が必要です。現在、レーザーを用いた内視鏡下手術(TUL)が主流で基本4～5日間の入院で当院でも数多く行っておりますが、近年導入施設が減少している体外衝撃波結石破碎(ESWL)装置を有しており、全例とはいきませんが適応症例を見定めた上で1泊2日のESWLも積極的に行っています。

前立腺がん

加齢が危険因子となる前立腺がんは、高齢化に伴って罹患数が増えているがんです。以前は開腹手術が主流でしたが、現在は低侵襲でQOLの改善につながりやすい鏡視下手術が普及し、当科では腹腔鏡下前立腺全摘除術を積極的に行っています。診断後、ロボット手術を希望される方は提携医療機関をご紹介しますので、お気軽にご相談ください。必要に応じて、放射線治療や抗がん剤治療を含めた集学的治療も当院で実施が可能です。

前立腺肥大症

肥大した前立腺が尿道を圧迫し、排尿障害を引き起こす前立腺肥大症は、生活に著しい影響を及ぼす疾患です。近年は薬物治療の種類が増え、手術をしなくても症状を適切にコントロールできるようになりました。薬物治療の効果が不十分な場合は、基本的な内視鏡手術である「経尿道的前立腺切除術(TUR-P)」を長年数多く行っています。



診察室



検査台



体外衝撃波結石破碎装置

Message

検査から治療までのスピードを上げるため、外来で実施した放射線検査、エコー検査などについては可能であれば当日中に結果をご説明します。入院当日、あるいは入院翌日には手術ができるよう、手術予定の方の検査も外来で実施。糖尿病など全身疾患を持つ患者さんも安全に手術ができるよう、院内の他科と連携し、患者さん一人ひとりの状態を踏まえて個別に最適な治療法をご提案しています。緊急入院が必要となる場合もありますので、お困りの際はご相談ください。

泌尿器科部長 内田 康光



稲城市立病院
INAGI Municipal Hospital

New nurse INTERVIEW

新人看護師インタビュー



篠原 (消化器外科)

実習で消化器疾患の手術の流れに興味を持ち、消化器外科を選択。手術を待つ患者のケアや検査対応をメインに行いながら、安心・安全な手術に向けた観察の視点を養っている。「早く実務に慣れ、患者さんに寄り添える看護師をめざします」

川野 (脳神経内科)

身近な診療科として内科系への配属を希望。現在は検温や血圧測定、点滴、採血、内服・食事・排泄のサポート、清潔ケアなどを通して、患者との関わり方を学ぶ。「先輩たちのように、迅速で的確な判断ができる看護師になりたいです」

幸田 (外科系病棟)

実習の際、整形外科、脳神経外科、泌尿器科を診る外科系病棟の看護師の働きぶりに感銘を受け配属を希望。「当院で我が子を出産した際には、先輩たちの温かさにとても助けられました。患者としての視点を忘れず、日々成長していきたいです」

INTERVIEW 1 当院に入職を決めた理由を教えてください。

篠原…インターンシップで見学に来た際、先輩たちが温かく、優しく迎え入れてくれたからです。しかも現場では颯爽としてかっこよく、これが自分のめざす看護師像だと感じて、当院を選びました。

川野…私も同じく、インターンシップで感じた雰囲気が一番の決め手でした。加えて、とても信頼している息子のかかりつけ医が当院の小児科出身で、「この先生が働いていたなら間違いない」と感じたことも理由の一つです。

幸田…実習で見た先輩たちの働きぶりには、心を動かされましたよね。私は自分の出産でチームワークの良さや患者さんへの思いの強さを目の当たりにしていたこともあって、迷いなく当院への入職を決めました。

INTERVIEW 2 実際に入職してみて、いかがですか？

川野…だんだん仕事に慣れてきて、周りが見えるようになってきました。実習で感じた以上に、現場での先輩たちの動きは丁寧でありながら迅速で、見習うことばかりです。

幸田…同期の中では年齢的に遅めのスタートということもあって、最初は業務を覚えることに必死でした。日常のルーティンをこなすだけで精いっぱいだったのですが、今は先輩たちの対応力も自分のものにならないうちに学んでいます。

篠原…先輩たちの親身な指導に感謝の毎日です。「手術の安全性や確実性を高めるために、術前に観察するべき」と言われていたポイントと疾患の結びつきが少しずつ見えてきて、やりがいが増しました。

INTERVIEW 3 患者さんと接するとき心がけていることは？

幸田…同じ病棟に入院していても、患者さんの生活背景や病態はさまざま、不安に思うことも違います。患者さん一人ひとりの個性を意識した対応を心がけ、短い時間でも深く関われるようになりたいと思っています。

川野…自分が入院したときを思い出して、してもらってうれしかったことを実践し、安心できると感じた言葉を意識してかけることを心がけています。ただ、言葉は患者さんによって受け取り方が違うので、伝え方を工夫しなければなりません。性格や人柄に合わせた言葉選びを大切にしています。

篠原…まだまだ経験や知識が足りない今は、とにかく「誠実に向き合う」。この言に尽きます！

INTERVIEW 4 今後の目標について教えてください

川野…まずは、日々の業務を通じてもっと視野を広げていきたいです。いざれば、周囲の皆と協力し合いながら「患者さんの安全と安心を第一に考えられる看護師」になれるようになりたいです。

篠原…今後は、患者さんとの接点を今以上に大切にしたいと思っています。ちょっとした変化に気づいて声をかけたり、話を聞いたりできるように、周りを見る目を養いたいですね。

幸田…入職時より成長したといっても、まだわからないことは多く、先輩に助けてもらうことが多いのが現実です。少しでも早くひとり立ちして自分らしい看護を提供できるように、患者さんに「人前の看護師」として認めてもらいたいです！



稲城市立病院
INAGI Municipal Hospital

〒206-0801 東京都稲城市大丸1171番地 TEL.042-377-0931 (代表)

初診受付 平日8:00~11:00

専門受付 平日13:00~15:00 (完全予約制)

再来受付 平日8:00~11:30

休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)



ホームページ